

令和4年4月13日

市政記者各位

福岡市美術館

2022年度の展覧会ラインナップを公開しました

福岡市美術館の2022年度の展覧会ラインナップを公開しましたので、お知らせします。2022年度も充実したラインナップとなっております。

つきましては、広報にご協力いただきますようお願いいたします。

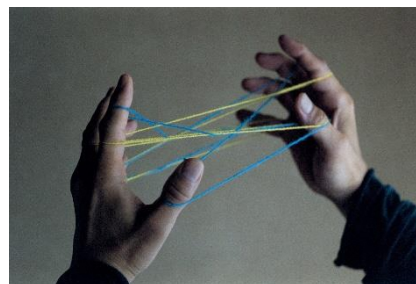
特別展 会場：福岡市美術館2階 特別展示室

ミナ ペルホネン／皆川明 つづく

会期：2022年4月23日（土）～6月19日（日）

デザイナーの皆川明（1967年生まれ）が設立したブランド、ミナ ペルホネン。流行に左右されず、長年着用できる普遍的な価値を持つ「特別な日常服」をコンセプトとし、日本各地の生地産地と深い関係を紡ぎながら、オリジナルの生地からプロダクトを生み出す独自のものづくりを続けてきました。

本展では、生地や衣服に加え、創作の背景を浮き彫りにする作品や資料を併せて展示し、ミナ ペルホネンと皆川明のものづくりとその思考を紹介します。



©Yoshihiko Ueda

tupera tupera のかおてん.

会期：2022年7月1日（金）～8月21日（日）

亀山達矢と中川敦子によるクリエイティブ・ユニット tupera tupera は、2002年の活動開始以来、絵本やイラストレーションをはじめ、工作、ワークショップ、アートディレクションなど、様々な分野で幅広く活動しています。彼らにとって「顔」はアイデアの源泉。本展では、絵本原画に加え、映像作品、インスタレーションなどさまざまな「顔」が皆さんを迎えます。ユーモアと驚きとそして発見に満ちた「顔」の世界を、大人も子どもも楽しんでください。



tupera tupera 《かおカオス》

撮影：吉次史成

国宝 鳥獣戯画と愛らしき日本の美術

会期：2022年9月3日（土）～10月16日（日）

京都・栴尾の高山寺に所蔵される国宝《鳥獣戯画》は、日本美術の中でも最も有名であり、また、人びとから愛される作品です。この絵巻の魅力が「愛らしさ」にあることは言を俟たないでしょう。画面の中を所せましと駆け回る動物たちの愛らしい姿に、子どもからお年寄りまで誰もが思わず頬を緩めてしまいます。

本展では、《鳥獣戯画》の魅力を支える、動物モチーフと表現の簡潔さとユーモア、というテーマに沿って、日本美術を紹介します。



《鳥獣人物戯画 甲巻》（部分）（国宝）
平安時代 12世紀 京都・高山寺蔵
画像提供：東京国立博物館 Image: TNM Image Archives

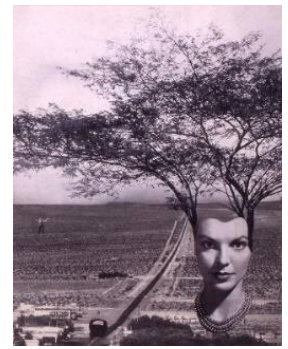
藤野一友と岡上淑子

会期：2022年11月1日（火）～2023年1月9日（月・祝）

藤野一友（1928-80）と岡上淑子（1928年生まれ）は戦後、シュルレアリスムを受容しながら、それぞれ絵画とフォトコラージュという分野で独自の作品世界を生み出しました。1951年ごろ文化学院で出会った藤野と岡上は、1957年に結婚。同じ時代に活動を開始した2人の作品には、身体の表象や幻想的な世界観に共通点も見出せます。藤野と岡上の活動に迫ります。



藤野一友《抽象的な籠》1964年



岡上淑子《新たな季節》1955年
高知県立美術館蔵

企画展・コレクション展・教育普及プログラム

美術館ウェブサイトにて年間スケジュールを公開しました。下記 URL よりご覧いただけます。

<https://www.fukuoka-art-museum.jp/assets/pdf/fukuokaartmuseum2022.pdf>

共通	開館時間	午前9時30分～午後5時30分 ※入館は閉館の30分前まで (7月～10月の金・土曜日は午前9時30分～午後8時)
	休館日	毎週月曜日、年末年始 ※月曜日が祝日・振替休日の場合はその後の最初の平日
	観覧料	〈コレクション展・企画展〉一般200円、高大生150円、中学生以下無料 〈特別展〉各展覧会による

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組みながら開館しております。

※来館時にはマスクの着用、手指の消毒等にご協力ください。

【問い合わせ先】

経済観光文化局 美術館学芸課 (担当：忠、鬼本、宮田、正路)

TEL:092-714-6051